



隈元

まずは 100 号という記念すべき大作をまとめ上げいただいた西山さんに敬意を表します。

ありがとうございます。そしてお疲れ様でした。

そしてこの通信の基礎を「八期通信」を企画し始めてくれてここまで発展させた大石くん！ありがとうございます。どのような言葉で感謝していいのかわかりません。私は勤務の都合で 20 年鹿児島を留守にして、42 歳で鹿児島に帰ってきましたが、この八期の仲間と、学生時代に歌った男声合唱の仲間との交流、この二つで 85 歳の今日まで楽しく過ごしてきました。

とりわけ八期の仲間は、いつも大石くんが中心になり、その人柄や企画立案によって皆を引っ張ってくれました。

思い出せば、還暦のアメリカへの旅や、同期会、記念誌など他の年代の人が経験したことのないような盛りたくさんの中を楽しく過ごしました。

これからも命のある限りまた参加したいと思います。

今後とも皆さんよろしくお願いいたします。



西山

クマタツさん メールありがとうございます。

仰る通り、大石さんの企画奮闘は素晴らしいものです。

歴史を語る有力メンバーのサポートと活躍も大きく貢献しています。

今後ともよろしくお願いいたします。



大石

100 号記念号『八期オンライン日記』

西山くん(親しみを込めてくん読みで失礼します)ご苦労様です。

LINE で読み流していくのと違って以前のような文章中心のEメールにはない編集を心がけている西山くんの苦労が、同じ編集をやっている者にはよくわかります。

やりながら又別の**発送(発想)**(西山が訂正)が浮かんでくるのが楽しみなのではないでしょうか？

ぜひぜひ👏このまま、2026 年も、その後も編集よろしくお願い申し上げます。

今回ただひとつ気になったことは固有名刺の変換がおひとりだけ間違えてたことくらいです。

編集長に代わってぼくから「すみません」とここで**誤って(謝って)**(同)おきます。



西山

あなたにならって、大石くん。

私の編集には変換ミスが1カ所ですか、あなたのこのメールにはミスが2カ所あります。上記で訂正しておきました。まさに後世(校正)恐るべしです。

実際に編集を行って、あなたのこれまでの大変さもよく分かりました。

また勉強になり、楽しいこともありました。

当初の予定通り、9月号の編集をもって本家に返還させていただきます。

よろしくお願いいたします。



木場

西山さん 八期会オンライン100号(8月)ラインで頂きましたが、メールで頂いたものをコピーし、読んでおります。

今回 八期オンライン100号大作記念号頂きました。

西山さん！ 大変な編集作業だったと頭の下がる思いです。

有難うございます。

投稿者も だんだん増加傾向にあります。喜ばしいことです。それだけ 西山さんの作業量が増えてきます。

今回は55周年記念号より抜粋転載もされ、隈元さんの記事薩摩藩の歴史史跡が玉龍の近くに散在していることも興味深く読みました。十二年前に読んだこと？ 全然記憶にない？ 改めて読みました。

戦後八十周年にまつわる記事 鹿児島市内空襲、引き上げ者にまつわる話など 興味深く読みました。皆さん苦勞されて来られたように思いました。

この戦争について、今まで詳しく知ろうともせず今まで過ごしてきました。戦後80周年を迎えた今年、この戦争についていろいろと勉強しているところです。明治になってから 国内、海外とも 約十年ごとに 戦争があり、日清、日露の後、今回のアメリカとの太平洋戦争に入るまでに 昭和12年に盧溝橋事件を契機として始まった日中戦争に端を発している？

西山レポート について

半導体 トランプ政権 関税貿易戦争 アメリカ経済の不確実性が長引くなど
いろいろな反響が見られます。

大手銀行やハイテク企業をはじめとする企業の自社株購入が増えてきており、これらにより株価上昇に大きく影響をもたらしていることなど興味深く読みました。

日本のNISA 新 NISA なども株価上昇に貢献しているのでは・・・と思われます。



西山

木場さん メールありがとうございます。過分な評価恐縮です。

投稿者を2倍、3倍へと増やしたいところです。

昔の物でも繰り返し読んでみると新しい発見があるものです。

書くことには、自分のことを知って貰える楽しさがあります。

オンライン日記の開始以来、一回も書き込みをしていないとは勿体ないことです。

人に歴史ありと言われるように、屈託なく書きましょう。

歴史 history とは His (Her) story.です。

人はなぜ書く？ 生きていた証を残すため。それは「紙碑」でもある。



木場

八期オンライン日記 100号(8月号) 拝受 有難うございました。

PS 前中国大使垂秀夫著「日中外交秘録」文芸春秋読みました。

西山さんが数回垂秀夫氏の記事をメールで送っていただいていたので読んでいましたので回顧録を読んでみようと思って買いました。

2025年6月初版8月に重版よく読まれているようです。

対中国対策 今の石破政権はどのような対応されるのか…、

アメリカ関税問題も併せて気になります。



浜崎

明日土曜日(2025/0906)は玉竜中、高校の体育祭です。11時15分から、高校3年生のフォークダンスが始まります。

思い出しますか？

手を取り合って踊ったこと、相手の方のこと、

今も胸が熱くなります。!!



西山

写真の上下白のランニングトレパン着用は松山忠太じゃないでしょうか。

女性の手がすごく柔らかかったのは覚えています。

運動会当日のほかに事前に練習があったのでしょうか？

| 令和7年度 鹿児島玉龍中高一貫教育校 体育祭プログラム | | | | | | | | | |
|--|-----------------|--------|---------|--------|----------|----------|----------|--------|-------------------|
| 開会式(8:30~8:50) | | | | | | | | | |
| 1 入場 | 2 開会宣言 | 3 国旗掲揚 | 4 優勝旗返還 | 5 校長挨拶 | 6 生徒会長挨拶 | 7 競技上の注意 | 8 生徒代表宣誓 | 9 準備運動 | 10 退場 |
| 中エール交歓(8:50~9:05) | | | | | | | | | |
| 種別 | 種目 | 組 | T-F | 出場者 | 採点 | 編成所 | 待 | 和 | 所要時間 |
| 1 | 200m 決勝 | 4 | T | 中高選 | 0 | 3 | 9:10 | 10 | |
| 2 | 男子 50m 決勝 | 2 | T | 高選 | 0 | 4 | 9:20 | 15 | |
| 3 | 800m 決勝 | 1 | T | 中高選 | 0 | 3 | 9:35 | 10 | |
| 4 | 女子 50m 決勝 | 2 | T | 高女選 | 0 | 4 | 9:45 | 15 | |
| 5 | 1000m 決勝 | 1 | T | 中高選 | 0 | 3 | 10:00 | 10 | |
| 休 息(10:10~10:20) | | | | | | | | | |
| 6 | 中学1年学年対抗リレー | 1 | T | 中1全 | 0 | 4 | 10:20 | 10 | |
| 7 | 綱 引 | 2 | F | 中高選 | 0 | 1 | 10:30 | 15 | |
| 8 | 中学2年学年対抗リレー | 1 | T | 中2全 | 0 | 4 | 10:45 | 10 | |
| 9 | 400m 決勝 | 2 | T | 高選 | 0 | 3 | 10:55 | 10 | |
| 10 | 中学3年学年対抗リレー | 1 | T | 中3全 | 0 | 4 | 11:05 | 10 | |
| 11 | 思い出フォークダンス | 1 | T-F | 高3 | 3 | 高3 | 11:15 | 20 | |
| 観 衆 (11:35~12:30) 祝電披露 | | | | | | | | | |
| 12 | 部 活 動 紹 介 | 2 | T-F | 体育系部員 | 2 | 12:30 | 20 | | |
| 13 | 中 学 1 年 種 目 | 1 | F | 中 1 | 0 | 4 | 12:50 | 10 | |
| 14 | 中 学 2 年 種 目 | 1 | F | 中 2 | 0 | 4 | 13:00 | 10 | |
| 15 | 高 校 学 年 対 抗 リレー | 3 | T | 高 校 選 | 0 | 1 | 13:10 | 20 | |
| 16 | 中 学 3 年 種 目 | 1 | F | 中 3 | 0 | 4 | 13:30 | 10 | |
| 休 息(13:40~13:50) | | | | | | | | | |
| 17 | 色 別 対 抗 リレー | 2 | T | 中高選 | 0 | 1 | 13:50 | 10 | |
| 18 | フ ィ ナ ー レ | 3 | F | 高 校 選 | 0 | 14:00 | 30 | | |
| 閉 会 式(14:30~14:50) | | | | | | | | | |
| 1 入場 | 2 整理運動 | 3 成績発表 | 4 優勝旗返還 | 5 校長挨拶 | 6 校歌斉唱 | 7 退場 | 8 万歳三喝 | 9 閉会宣言 | 10 退場(終了後、会場撤去作業) |
| ★体育館開放について★ 8:00~14:00 貴重品の管理等は各自でお願いたします。 | | | | | | | | | |

| | | |
|-------|-----------------|------------------|
| 大会記録 | 男子 | 女子 |
| 200m | 24秒64 有上 R5 | 28秒32 西田 R2 |
| 400m | 55秒89 山本 H2.3 | 1分07秒87 横塚 H2.7 |
| 800m | | 2分29秒89 尾之上 H2.3 |
| 1000m | 2分50秒40 浦村 R6 | |
| 1500m | 4分16秒52 幸福 H8 | |
| 200m | 25秒51 安田 H2.1 | 28秒37 西田 H2.9 |
| 800m | | 2分41秒65 浜村 H2.1 |
| 1000m | 3分10秒36 出雲 R6 | |
| 1500m | 4分26秒46 北村 H2.1 | |



浜崎

玉竜中高の体育祭は、炎天下にもかかわらず大盛会でした。
若人の歓声に、私の胸も熱くなりました。男女混合のリレーでは、
手のひらが痛くなるくらい！応援しました。
待望のスクエアダンスは2回でしたが、在校生のアンコールの大合唱で
計3回楽しそうに、手を取り合って踊りました。私の孫も!!



西山

先輩の気持ちを察する思いやりのある下級生たちですね。
素晴らしい。ひょっとしたらアンコールは、例年恒例になっているのでは
ないでしょうか？ そうだとしたらよいことです。
もしそうでなかったとしたら、今後、恒例になることでしょう。
来年は OB・OG もフォークダンスに参加できるように申し入れてください。
できれば OB・OG と在校生との交流と言うことにしていただければよろしいのではない
でしょうか？ これも恒例にして欲しい。



永野

よかことですね、86才の皆さん
ステップできるかな？
西山さん!? 鹿児島に帰っておいで？ 踊りましょう。



浜崎

阪神タイガース優勝のお祝いの言葉を方々からいただき、面映ゆい心地です。
何より嬉しいのは、藤川球
児監督が不遇の時を耐え
忍び復活した事でしょう。
名前からして、球児という、まさに野球
の申し子。
永年、夢見た猛虎選手一同の活躍
は、褒め尽くせない。
皆様応援有難うございました。😊!!





木場

8月 30 日南日本新聞記事、塩田さん、93 才、鹿児島駅に落ちた爆弾、無数の遺体、読みました。鹿児島市内焼け野原状態、小さい頃の記憶読み返りました。



浜崎

大石君を困む留学生の表情が理知的です。異国で一生懸命研修されている熱気が伝わってきまおおいし。大石君の善意ほめてあげて下さい。感服。

!!



大石

戦国島津(戦い)の先がけはこの「いろは歌」日新斎こと忠良から始まった。と思います。つい、亡くなられた本田さんを思い出します。

新 本 日 南

南薩路 25 南さつま市

かこしま
街道見聞記
桐野 作人
[123]

竹田神社境内にある「いろは歌」の石碑
南さつま市加世田武田

「いろは歌」の成立事情

「いにしへ(古)の道を聞きても唱へてもわが行ひにせずばかひ(甲斐)なし」
日新斎(日新公)こと島津忠良がまとめた「いろは歌」の冒頭の有名な一語である。
日新斎は明応元(1492)年に生まれ、永禄11(1568)年に享年77で亡くなっている。明応元年に起きた明応の政変

を、鎌倉以来の主筋である近衛家当主で前関白太政大臣・近衛家(1503〜66)に添削を依頼した。それは同時に、島津家の家督を相州家が相続したことを知らせ、新たな関係を取り結ぶ目的もあったのだろう。種家は一読すると、「いろは」と面白く言語に絶する」と感想を述べたうえで奥書を書いてくれた(旧記雑録前編「2509・2510」)。
「老若を問わず、注意してよく読めば、この47首を書かないで、天下の善し悪しのことわざを知ることができない。教えや戒めのかげになるものだ」
種家はさらに連歌師の谷宗養にも批評を求めてくれた(右同書2511)。
「いろは歌」の目的や特徴はどのようなものだろうか。

日新斎が「いろは歌」をまとめたのは天文14(1545)年前後で、50代半ばの頃である。この頃に何があつたかという点、日新斎と貴久父子の相州家がライバルの薩州家の島津家久を破り、貴久が有力一門衆に推戴されて、本宗家の家督に就くことが内定したときである。つまり、悲願達成の充実感を得た日新斎が来たるべき領国支配をいかに行うべきか、それを家臣団に対して、平易な言葉で語りかけようとしたのが「いろは歌」が成立するきっかけだったと思われる。

日新斎は「いろは歌」の草稿を、鎌倉以来の主筋である近衛家当主で前関白太政大臣・近衛家(1503〜66)に添削を依頼した。それは同時に、島津家の家督を相州家が相続したことを知らせ、新たな関係を取り結ぶ目的もあったのだろう。種家は一読すると、「いろは」と面白く言語に絶する」と感想を述べたうえで奥書を書いてくれた(旧記雑録前編「2509・2510」)。
「老若を問わず、注意してよく読めば、この47首を書かないで、天下の善し悪しのことわざを知ることができない。教えや戒めのかげになるものだ」
種家はさらに連歌師の谷宗養にも批評を求めてくれた(右同書2511)。
「いろは歌」の目的や特徴はどのようなものだろうか。

日新斎は家臣や領民たちの識字能力も考慮し、仮名を多用した和歌という形式を採用した。和歌の平易でリスミカルな音調は彼らの理解を深めるのに役立っていたことだろう。

その内容は、人格形成や人格陶冶のため、学問の会得、良好な対人関係の構築、忠孝の倫理による主従道徳の確立をめざしたものであったといえよう。47首のなかで、とくに注目されるのが34首目である。
「あかう(回回)には我と人を隔つなよ かんきん(倉懸)はよししてもせずとも」
回回(わわ)は死者の成仏を祈って供

養する行為である。日新斎は「我」と人、すなわち戦死した者の供養で味方と敵を差別するなど戒めているのである。これは「怨親平等」といって、仏教の大慈大悲を意味し、自分に害をなす者と自分を愛する者とを一切差別しない精神のことである。古代インドのアシoka王が修行の末に得た境地で、中世日本にも伝来している。とりわけ、戦争の多かった戦国時代だからこそ、憎むべき敵の死者をも葬り供養する行為は尊い。

日新斎の「怨親平等」の教えは島津家中に受け継がれて実践された。島津家が関与した古戦場には、敵味方の別なく供養する六地藏塔が建立されているのを見ることが出来る。
(歴史作家) 隔週月曜日に掲載



木場

西山さんから八期オンライン日記、大作、作業、大変だったことと思います。私は、メールで送っていただいたものをコピーして読みました。凄い八期オンライン通信でした。詳しくはメールで書き、返信しました。ありがとうございます。



浜崎

8 期オンライン日記第 100 号、楽しく読ませていただきました。西山さんと大石君、お二方の共通点は、正にヤル気、元気、根気だと思います。ご苦労様でした。



大石

LINE 上のオンライン日記は 9 月 8 日迄で自然消滅します。観終わってない方、も一度みたい方は意思表示してください。新しく送ってあげます。スマホに E メール (gmail とか) ある方はそこへ転送をお勧めします。



浜崎

祥雄さん、鹿児島駅爆撃で殉職された駅員さんの慰霊碑が鹿駅の一隅にあります。友人の父上が、当時の駅長でした。6 人の子供を抱えて、お母さんは、難儀されたそうです。こんな話、当時は珍しくなかったですね。



木場

浜崎さん、新聞記事、ほんとだったのですね！ありがとう。



西山

1945 年 7 月 27 日昼前、列車が到着したばかりの駅を米軍機が爆撃して 420 名が亡くなりました。写真は鹿児島駅殉職者 12 名の碑。そのうち 10 名が 10 代、そのほとんどが女性でした。



幕末の薩摩藩士たち

京都史跡探訪

藤田 一知

⑨

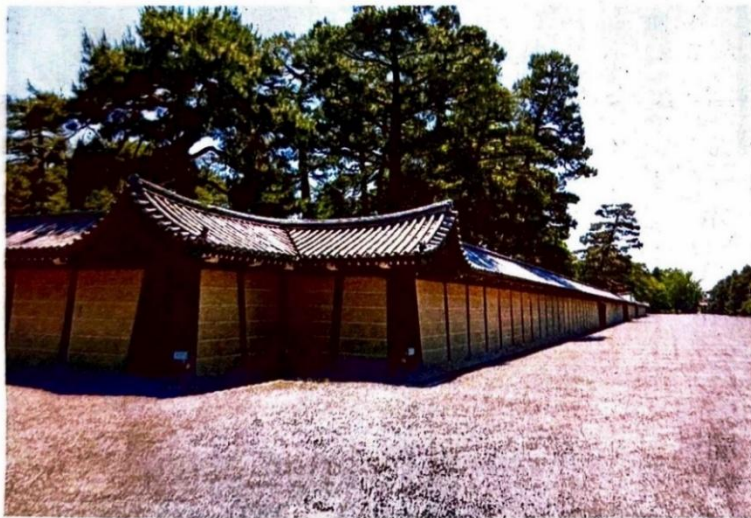
幕政改革を成功させ、文久2(1862)年8月、江戸をたつた島津久光の一行は武蔵国生麦村(現横浜市鶴見区)で、行列を遮ったイギリス人4人を斬りつける生麦事件を起こした。

薩摩藩が事件の処理に追われる



猿ヶ辻事件

現場に忠重の銘刀



間に、京都では長州藩が三条実美や姉小路公知ら尊皇攘夷派の公家と手を結び、市中では公武合体派らが「天誅」の名のもとに襲われる事件が続発した。

そんな中、文久3(63)年5月20日夜、今度は尊攘派の中心人物だった姉小路が御所門外の猿ヶ辻

付近で暗殺された。現場に薩摩を代表する刀工「奥和泉守忠重」の銘が刻まれた刀が残されており、薩摩藩士田中新兵衛の帯刀と分かった。

だが、田中は取り調べに一切口を割らず、その刀で自ら喉を突いて亡くなる。真相は不明のまま、関与が疑われた薩摩藩は乾御門の警護を一時外された。公武合体派の薩摩藩が処分を受けたことで尊攘派は再び勢いついていった。

猿ヶ辻は御所東北の角で鬼門とされ、御幣を担いだ木彫りの猿が置いてある。

(元南日本新聞社論説委員長)
次回回は15日付予定

姉小路公知が暗殺された御所門外の猿ヶ辻付近
京都府上京区



隈元

今日の登場人物、田中新兵衛は、西村望の数少ない時代小説一人斬り新兵衛一に詳しく書かれています。

興味のある方は、一読を。



柴田

今晚は。いよいよ明日になりました ご苦労様です。何のお手伝いもできずに
申し訳なく思います。猛暑も緩和の方向で良かったですね
9月16日～17日の両日は八期会の皆様心願成就であるように祈願致します。
盛会を祈ります。



森

今夜のホテルからの夜景です



永野

東京だねー
ゆっくりお休みい



大石

和枝さん！おかげでいいホテルを紹介してくれてありがとう。
一緒出来ず残念でした。次は一緒に行けるよう。



西山

和枝さん、いつの日にか皆さまと一緒に同じ風景を見ることができるよう頑張ってください。風景は変わらずあなたを待っています。

次は、9月16日、日比谷松本楼における写真数葉。



日比谷松本楼 銀杏の間



吉村

吉村弘子です。
よろしくお願いします。



隈元

ありがとう！



木場

皆さん、久しぶりの再会、楽しいひと時を過ごされておられるようです。
私は左膝動脈りゅうバイパス手術の為、リハビリ中、参加出来ませんでした。
東京見物楽しんで下さい。幹事西山さん、ご苦労さまです。木場祥雄



2025 09 16 in 日比谷松本楼



ここまで、9月16日 松本楼にて

次は、9月17日 浅草茶寮一松にて



安倍

浜崎さん、森さん、二日間ご一緒出来て、楽しかったです。
今日も良く歩きましたね。
最後の挨拶も出来ず済みませんでした。
どうぞ、お気をつけて、お帰り下さいませ。
又何時の日かお会い出来るといいですね。
お元気でお過ごし下さいませ。



森

木場さん、リハビリ中とのこと、お身体ご自愛ください。
また次の機会にご一緒できるのを楽しみにしています。



森

最後の晚餐を
2人でやっています。

いろいろとお世話様になり
ありがとうございました。



竹之内

こちらこそ、とても楽しかったです。有難う御座いました。



隈元

おいしそう。
中華料理だすなあ！



隈元

竹之内さん

今回は、行けずにすみませんでした。又の機会に会いましょう。 隈元



竹之内

是非、是非そうしましょう。



大石

朝 2,000 円のモーニングを3人で食べ、
8:30 ひとり先に東京駅へ。

上越新幹線(2 時間)新潟駅へ向かう。



大石

夕食 2,100 円, ひとり旅にはちょうどいい夕食。
ごはん、味噌汁、漬物、真イカの刺身が美味しかった。



明日は朝早いです。金山たっぷり周りま
す。夜は両津港湖畔の宿にもう 1 泊。
ゆったり佐渡島 2 泊旅です。酒田市と鶴岡
市に北上しますけど天気が心配です。



西山

大石さん。 徹頭徹尾、青春の
思い出作りの旅ですね！



西山

3月から準備にかかった玉竜8期パーティ、一昨日、昨日と大いに盛り上がり、楽しい日を過ごすことができたかと思っております。これもご参加各位のご協力の賜物です。誠にありがとうございました。

同期の集まりはかくあるべきだと思っております。ご出席の男性はもちろんのこと。

ひーちゃん及び洋子さんには大変お世話になりました。お二方の出席でパーティは嫌が上にも盛り上がりました。今回出席できなかった方々、次回までには体調を整えてご参加いただけるようにお待ち申し上げます。



西山

大石さん、なにわともあれご無事に旅行を終えられることをお祈りしております。本当にあなたは元気ですね。



木場

本当に、あたたかい気持ちになった感じです。
高校の同期会気心が分かり合えてよろしいですね！
幹事さん、ご苦労さまでした。



森

木場さん、今回はご一緒できず残念でした。次はぜひご参加ください。



森

羽田で浜崎君の妹さん
一家に見送られて帰途に
つきました



木場

森さん、お元気そうで何よりです。
皆さん、楽しんでおられ、何よりでした。機会あれば、お会いしたいと思っています。



森
上町周辺も
様変わりしたの
で報告します。



元左側の場所にあった
八反丸病院は右側の国道沿いに
移転しリハビリテーション病院になり
ました!

今給黎病院は騎射場に移転し
あとはコスモスになりました!

今給黎病院の近くにあった院長
宅跡は山下公園内にあった
県教育会館が新しくビルを建て
て最近移転して来しています。
以上ご報告いたします。



森
八反丸病院の跡は現在駐車場になっています。



永野
今給黎の息子さんや八反丸病院の息子さんたち
私達とかかわらない方達ですよ
松山先生から聞いていました。
親が医者で金持ちだとよかなーと松山がぼやいていました?



満留

おはようございます。みつどめです。先日の松本楼での再会うれしい事でした。皆様お元気で何よりです。

人生百年時代 健康に気を付けて 又いつかお逢いしましょう



西山

満留さん お忙しい中スケジュールを調整してのご参加誠にありがとうございました。またいろいろお手伝いいただきまして非常に助かりました。今後ともよろしくお願いいたします。



隈元

その満留さんに昨日、思わぬ所で出会いました。

鹿児島市内です。妻の月命日のお寺さん納骨堂参りを済ませて、道路に出て 10 歩も行かない所で反対側を歩いてくる人がいます。

それが満留さんでした。車は一方通行で人通りはほとんどない道なので、私も一瞬、目を疑いましたが、声をかけました。

鹿児島公演の打ち合わせに行くところとのことでしばらく立ち話をして別れました。

世の中には、偶然ってあるものですね。

出合いに感謝でした。



大石

ここでクイズ、予約しないと入れない金沢の名所は別名を何と言いますか？



森

お化け屋敷！？



西山

金沢の名所と言えば、兼六園かお城という感じですけど、両方とも予約が必要とも思えないですが、強いてあげればお城かな？ まあ完全にギブアップです。



大石

写真をよーく見ると看板に書いてありますよ。



西山

どの看板だか何回も確認したが、探しあてることができませんでした。

加賀藩はあるとき、藤堂高虎に石積みの稚拙さを叱責され、名誉挽回のため穴太衆(あのうしゅう)を常雇いにして石積みの訓練をしました。その成果が江戸城の天守台ですが、金沢の城も見事な石積みですね。
私はその昔、仕事でしか行ったことがありませんので、お城も外からちょっと眺めただけ兼六園に入る余裕はありませんでした。
大石さんは整備された観光金沢を満喫されたことと思います。
それもこれも日ごろの行いへのご褒美でしょ本当によかった。



大石

(の中に)英語で答えが。



大石

隆くんが新婚旅行で行って今も鮮烈に思い出のスポットで勧められたお寺です。運転手さんに「幽霊屋敷迄」と言ったら「忍者屋敷じゃないですか？」と、よく観光客が間違えらそうです。



西山

江戸時代は、ただ単に平和な時代でなく、互いに監視しあって、どうにか平和を保っていたようです。江戸の加賀藩(現;東京大学)の隣には、水戸藩が屋敷(現;東京大学農学部)を構えて監視をしていました。
でも、大きな戦はなく、まあ平和な時代であったと思います。



西山



森

秋の気配が近づいてきましたね！



木場

大石さん、西山さん、森さん、色々と楽しませてもらいました。
ありがとう。



西山

上野不忍池を訪れている外国人を見ると、オーバーに言えば半数位がタトゥーと言う刺青をしていました。単色のものがほとんどでカラフルなものはあまりありません。

おそらく今後日本の刺青技術が外国人に広く普及する感じがあります。その反面、日本の若者がファッションだと言って刺青をするのがあまり良い傾向ではないですね。



木場

私もそう思います。アメリカの野球選手はほとんど入れてますね！



森

浅草を歩いてる外人男性はほとんど足に入れ墨してましたね



浜崎



ライオンキングの満留さん、薩摩の風に出席出来ずに、ごめんなさい。
徳永辰哉君の七回忌で、南郷君佐々木君とお参りして参りました。
そして、平沢紀代子さんの納骨堂にも。大きな顔写真がなくなって、
小さな家族写真になっていました。
やっぱり彼女の笑顔の大きな写真がいい。ちょっぴり寂しいでした。

大石



今日は満留君が会長をしている「さつまの風」公演会を大石、隈元、森の三
人で聴きに行ってきました！ 3時間に及ぶ公演会でした！
満留君お疲れ様でした。

満留



「さつまの風」ご来場ありがとうございました。大いに助かりました。
今後共によりしくお願い致します。みつども

大石



満留さん、大変ご盛会な様子。
さすがと感心しております。
当分ご活躍が続きそうですね。何よりです。





隈元

満留さん 昨日は、久しぶりに日本の芸能を満喫しました。
さつまの風と銘うっておられた通り、いい風が最初から最後まで吹いていまし
たね。演者も小学校二年生から85歳のご老人

まで幅広く素晴らしいと思うことでした。

全部良かったですが、特に奄美の芸能には観客も一緒にな
って踊っておられましたね。

歌と太鼓とチヂン？の音を聞くと血が騒ぐのでしょうか。私は、
コーラスの奄美公演に行った時の打ち上げパーティでの地
元の人々の盛り上がりを思い出して感激しました。ありが
うございました。（自分の年を忘れて、「85歳のご老人まで」とは…）



満留

隈元さん、昨日はありがとうご
ざいました。
お忙しいところあいすみません
でした。

明日帰京します。いずれ又お逢いしましょう。



大石

今朝の新聞(朝)『薩摩見聞記』125 と新撰組…

幕末の薩摩藩士たち

京都史跡探訪

藤田 一知

⑬

池田屋事件で全国に勇名をはせた新選組は新たに隊士を募集し隊士が急増、壬生の屯所が手狭になった。慶応元（1865）年3月、浄土真宗本願寺派の本山である西本願寺（下京区）から300畳もある北集会所と太鼓番屋（太鼓



西本願寺

新選組の新屯所に



新選組が借り受けた西本願寺の太鼓楼。北集会所は移設された

＝京都市下京区

楼）を借り受けて「新選組本陣」の看板を掲げた。移転には、もう一つ狙いがあった。過激な尊皇攘夷派である長州藩士は、縁の深い西本願寺をたびたび頼っていた。反幕浪士らを取り締まるのが任務だった新選組にとっては、長州藩士の動きに目を光らせるのにも都合が良かった。その後2年余り、新選組は境内で大砲を響かせたり、実弾射撃の訓練をしたりして僧侶や門信徒を

怖がらせた。困り果てた西本願寺は費用を負担して大名屋敷並みの新たな屯所を寺に程近い不動堂村に用意し、立ち退いてもらったという。西本願寺の阿弥陀堂や御影堂、唐門などは国宝に指定され、世界文化遺産に登録されている。幕末期、砲声が響いた境内には連日多くの参拝者が訪れている。

（元南日本新聞社論説委員長）

次回回は10月2日付予定



大石

先崎氏は小泉進次郎をどう見ているのか興味深い。



ゼンチャン

先崎氏の小泉議員に対してどんな意見を持っているか非常に興味深いのでぜひ聞いてみたいです



大石

日時と場所：2025年9月16日（敬老の日）東京・日比谷公園内『松本楼』

めもりー！！

戦後80年の今年中に・・・と、集まった玉龍八期会（八回卒の集まり）も西山幹事のご苦勞で無事成功裏におわりました。名称は『東京八期パーティ』としゃれたタイトルでした。

さて、ぼくは、一昨年（八戸・下北・青森・函館・秋田・新潟・会津）に続いて北日本（東北・庄内・北陸）の「ひとり旅」をしました。



17日に佐渡島に渡り、2泊して、新潟から列車で北上、戊辰戦争で薩摩（西郷）と深いつながりを持つ鶴岡市と酒田市に3日、滞在しました。鶴岡では駅前で待っていた目的地行きのバスがあまりにも小さすぎ（現場では別なアクシデントもあった）乗り損ねてしまいタクシーで追いかけてようと思いましたが計画断念しました。今回の旅でいちばんの悔いが残りました。

県市日中友好協会の要件【記念誌制作】がいっぱいあり、ゆっくり、旅動画（ユーチューブ）など創る暇がないので、とりあえず忘れないように、駆け足作品（ダイジェスト版）を作成しました。

テロップの誤字が目立つ動画になりました。庄内を**荘内**と、金山の坑道を**講堂**などお恥かしい限りです。もしかしたら12月には暇になるかも知れません。 お楽しみにお待ちください。 大石



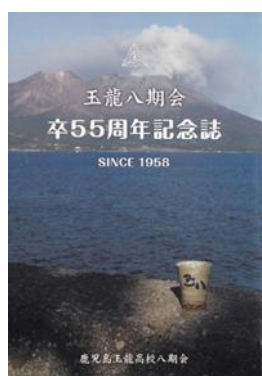


編集後記 西山

皆様の温かいご支援とご協力により、どうか「八期オンライン日記」編集の役割を果たせたと安堵しております。後は、大石さんへバトンタッチです。「八期オンライン日記」は、読んでいるだけでは勿体ない。投稿すれば、後に残ります。投稿して、残しましょう。



次頁から「玉龍八期会 卒55周年記念誌」のいくつか復刻しましたした。
少しずつ復刻を重ねて、戴きたいと願っています。



書いた物は残る
書かなければ残らない

和牛の香り漂うマンハッタン & 古希を越えて、そぞろ歩き

西山 和宏（1組）



ニューヨークJFK空港の到着ロビーを出たのは正午過ぎであった。タクシードライバーが、黒人婦人警官から乗車するタクシードライバーを書いた苦情連絡先を渡された。

JFKからマンハッタン中心部までのタクシードライバー料金は、一律五十二ドルと定められており、チップ込みで六十ドル渡せばドライバーはニコリである。

ドライバーに「景気はどうだ？」と聞くと「今日乗せるのは、あんたで二人目だ。三時間も待ったよ」「オハマケアはどうだ？」「いいね、うれしいね」などと会話をしながら、空港を離れてまもなく前方に早くも渋滞が見えた。

ドライバーは「まかせておけ」と幹線道路を離れて脇道に入った。イーストリバーに架かるマンハッタンへの七本の橋は、今日はどこへ回っても渋滞だろうと言いながら、ときどき渋滞を脇目に、短い距離でもスイスイ走るときには「どうだ、やったろうー」と歓声をあげることもあったが、タイムススクエアのマリオット・マーキースへたどりつくのに二時間近くもかかった。

その日は、二〇一三年十月二十六日、ハローウィン前の土曜日。家族でのパーティが多く、ホテルの宿泊代はシニア割引でも五百九ドル、翌二十七日は二百八十ドルと割高であった。

はじめてマンハッタンを訪れたのは、一九七三年七月、今日ではスーパーマーケットやコンビニなどで普通に見られるバーコードと、POSシステムに関する調査とテストマシン購入のためであった。その折、市内観光バスに乗り、自由の女神のクラウンに登るなど楽しんだ。

今日では、マンハッタン南端にあるバッテリー公園のフェリー乗り場からスタテン島行きのフェリー（無料）で往復すると、自由の女神を間近で見ることができ

る。会社を退社独立後、スーパーマーケットや食品工場を中心に、流通業界研修ツアーのコーディネーターとして、米国四十州以上を訪問した。

マンハッタンは、研修ツアーで十数回、フライベートでも数回は訪れた最も好きな街である。観光と買い物にも便利で、ミューシカルも楽しめる。ミューシカル観

客で、英語のセリフが分かるのは三分の一以下といわれている。英語が分からなくても楽しめるライオンキングのようなミュージカルがロングランになっている。

今回のマンハッタン訪問、「和牛普及セミナー」は、アベノミクスの成長戦略、農産物輸出拡大の一環として、日本貿易振興機構（JETRO）と公益社団法人中央畜産会の共催で行われた「日本酒・国産牛肉普及セミナーおよびネットワーキング」特に国産牛肉（和牛）普及セミナー（以下和牛普及セミナー）のコーディネーターであった。

なぜ、ミート（牛肉）のコーディネーターを務めることになったか。

大学卒業後に入社した会社で、ドイツ製の料金計算ハカリのセールスを担当した。当時、デパートで使用されているハカリの年間総予算は、日本橋三越が最も多くて二十万円、新宿伊勢丹など他のデパートでは十万円ではなかった。

私がセールスするのは最も安いもので一台約三十万円。今日、どこでも見られるデジタル・ハカリは百五十万円、肉や魚のパッケージに品名と値段を貼るラベル発行するラベルリングマシンは約四百万円、そのラベルを自動貼り付けするマシンは約七百万円であった。

同じドイツ製でも、カールツァイス製の会計機を担当ということで入社したが、入社後まもなく、その部門はなくなった。退社しようかとも思ったが、とりあえず石の上にも三年で、与えられたことを精一杯やることにした。

一九六〇年代に入ると、日本にもスーパーマーケットが現れ始めた。スーッと出て、パッと消えるからスーパーだと揶揄されることもあった。

当時、流通革命や問屋無用論などが盛んに議論されており、それらについては、学生時代に学んでいた。

続々と新規開店するスーパーマーケットの経営者について、売り場や商品についてアドバイスすると喜んで聞いてもらえ、次の訪問を期待されるようになった。当時、卵はグラムの量り売りであったので、その値付け作業に三十万円のハカリを購入してもらえた。

東京オリンピックが開催された後もしばらく、スーパーマーケットの精肉・鮮魚部門は、社外の専門業者への委託であった。直営にするためにスカウトした部門チーフの給料は店長よりも高く、中にはステテコでタバコをくわえながら仕事をする者もいた。

このような状況の改善策としてパッケージ販売を提案した。米国でもパッケージ販売は、まだ一般的ではなかったが、米国の流通誌には、導入や運営についての解

説記事が掲載され、米農務省はマニュアルブックを出版していたので、それを取り寄せた。

専門用語は英和辞典には載っておらず、自分用の辞書を作成した。これを継続して四十数年後「米流通用語事典」の出版になった。これには英語二千五百九十一語（見出し千五百五十五語）、和語二千六百五十三語が収録され、単独著者では、日米初として「米国議会図書館」に収蔵された。

今もネットで米流通業界のニュースを検索して、新しい用語の収集を継続している。

肉の色が鮮紅色から暗褐色に変化するメカニズム、牛肉は熟成でウマミが増すが、なぜ豚肉や鶏肉にはそれがないのか、パッケージによってミートの鮮度保持ができることなどを説明すると、経営者も精肉の職人も興味深く聞いてくれた。

また、パッケージによる作業効率の向上などのメリットを説いて、四百万円のラベリングマシンを購入してもらった。

ダイエー、西友、イトヨーカドーなど、当時、売上上位十社を担当し、店舗がオープンすれば納入という状態になり、それらの社内研修会や業界協会のセミナーでの講師、業界紙への執筆、NHKの番組制作を手伝うこともあった。

ミート部門のチーフの腕の善し悪しは、挽肉の挽き目に現われる。挽き目が美しいほど腕がよい。挽肉作りは高度の技術を要し、腕がよいチーフならパートにまかせず自分で挽くものである。

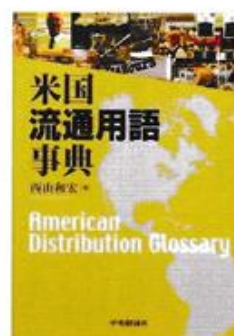
また、そのようなチーフは、作業中にまな板に載せておくミートの量が少ない。短時間に処理できる量だけ冷蔵庫から出すことによって、温度が高い場所に置く時間を短縮してロスを削減する。

日本でも農林水産省がミート・パッケージ・センターの開設を助成するようになり、そのための資料作成、助成先への説明を手伝った。

このような活動を通して、ミート業界と深く関わったこと、米国の流通業界に詳しいということから、今回、日本の和牛を初めて、米国に紹介するイベントのコーディネータを務めることになった。

役割は「和牛普及セミナー」を支障なく成功させるために全般的な調整、英文パンフレットの監修、講師の原稿チェック、通訳に業界用語の説明、そして、現地スーパーマーケットの案内と解説であった。

マンハッタン到着の翌三十日は日曜日、土曜・日曜にマンハッタンを歩いている



のはほとんど観光客である。気温は約十度と少し寒かったが、天気はよかったので、散策をかねて、一行約二十名をスーパーマーケット視察へ案内した。

タイムスクエアのマリオット・マーキースからバスで、セントラルパークの左下角に位置するコンバス・サークルを抜け、ジョン・レノンが凶弾に倒れたダコタハウスの七十二丁目を左折、フロードウェイを八十丁目まで行くと、最初の目的地「ゼーバース・Nabors」がある。

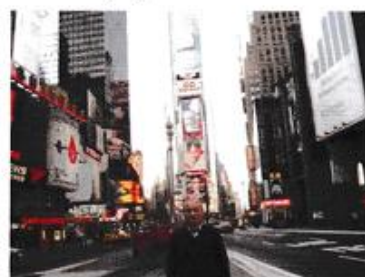
「ゼーバース」は、バリの「フオション」とともに、米欧のグルメを代表するストアである。店内に入ると、まず数百種類のチーズ、奥にはいつも買物客が注文の順番を待っているデリ・カウター、二階にはお土産にも適した珍しいキッチン用品がある。

「ゼーバース」を有名にしているスモークサーモンのスライスを食べながら、コンバス・サークルへ向けて、フェアウェイ、シタレラ、ターゲットなどのスーパーマーケットを覗きながらフロードウェイを徒歩で下ると、やがてオーガニック・スーパーマーケットとして最大手のホールフーズ・マーケットの前にたどり着く。

ホールフーズで、ドライ・エイジング・ビーフの販売を見て、流石にステーキの本場だと一行は感心した。このスシ・カウターで、ランチにスシ弁当を注文すると、日本語が流暢なバングラディッシュ人の職人が野菜サラダ、餃子も入ったニギリスシの弁当箱を出してくれた。

そこを出て、セントラルパークの端を通り抜けると五番街だが、その辺りには観光客目当ての馬車が、年々増えている。ティファニーを覗いて、近くのロックフェラーセンターへ行くと、スケートリンクがオープンしていた。これまで歩いたコースでは、ニューヨークの人たちが日常的な食品の買い物をどのようにしているか垣間見ることができる。

二十八日（月曜日）「和牛普及セミナー」が、マンハッタンの中ほどに位置するイベント会場「404」で行われた。入場者は、レストランやスーパーマーケットの経営者、マスコミ関係者など約四百名。



日本から運び込まれた最上級「和牛A5」約三十kgが試食に供された。日本産の本物の和牛は、米国のグルメなら一度は食べてみたい「まぼろしのご馳走」である。

バラック・オバマ大統領夫妻は、米国産であっても「和牛」が大好物。米国産「和牛」でも一人前百ドルを超える。ホワイトハウスで、ランチョンやディナーに「和牛」が供されると、贅沢だと書き立てられるので、それが極めて高価なことはいずれでも知っている。

神戸ビーフが米国へ初めて輸出されたのは、二〇一二年十一月二十九日、クリスマス商戦の目玉として、ロサンゼルスの高級レストラン向けにロースとヒレの合計百七十三、五kg。これは、ハオンスのステーキで約七百七十人分。神戸ビーフを提供と称しているステーキハウスは、ロサンゼルスに百四十七軒、ニューヨークには二百九十二軒、ラスベガスには百五十六軒ある。

日本政府は、二〇一二年の牛肉輸出金額五十一億円を二〇二〇年には二百五十億円に拡大を目標にしている。

鹿児島県の黒毛和牛飼養頭数は、約三十三万四千頭（構成比十八、五％、二〇一三年二月現在）で全国一位、宮崎は約二十万四千二百頭で二位。海外では、二位のMYAZAKIブランドは見られるが、KAGOSHIMAまたはSATSUMAブランドは見られない。これは何とかしなければならぬと思っている。

《気が向くままに、気楽にそぞろ歩き》

さて、話題を一転。孔子の「七十にして心の欲する所に従って矩（のり）を踰（こ）えず」という教えをさほど意識したわけでもないが、なんとなくそのように思えるようになってきた。また、年齢を重ねればそれなりに、新しいことへの興味もわいてくるものである。

というようなことから、巣鴨駅近くで同期会が行われたとき、始まる前に近くの染井霊園を数名で歩いた。

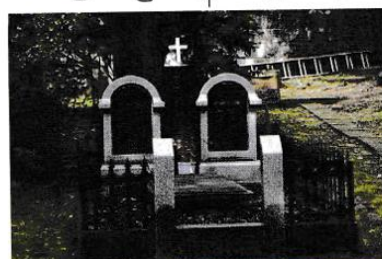
そこらには、高村光雲・光太郎・智恵子、岡倉天心、二葉亭四迷、安岡正篤、若槻禮次郎、樺山資記（薩摩藩出身、伯爵、白洲正子の祖父）千葉周作、芥川龍之介、遠山金四郎、森山多吉郎（ペリー来航の際の通訳）司馬江漢、陸羯南（くが かつなん：正岡子規の支援者）水原秋桜子などの墓石があった。

平成二十四年九月、生麦事件から百五十年の節目の年「生麦事件と横浜の村々：横浜市歴史博物館主催」の講演会に数名で出席。これに先立ってかねて懸案の生

麦事件史跡地および「生麦事件参考館」を訪問した。

横浜外国人墓地にある生麦事件で殺傷された「チャールズ・L・リチャードソン」の墓標には「Sacred to the memory of C.L. Richardson Late of Shanghai Aged 28 years who was cruelly assassinated by Japanese on the Tokaido near Kanagawa September 14 1862」云々。

その傍線部分は「・・・日本人によって残酷に暗殺された」である。（政治家や指導者の）殺害を意味する「assassinate」という表現は、後世に間違った事実を残すことになる。



今年一月十七日、東京・大手町の日経ホールにて「明治維新 The 150th Anniversary」サリィ・薩摩から新たな時代へ」が開催され、伊藤祐一郎鹿児島県知事、黒岩祐治神奈川県知事、原口泉志学館大学教授、島津忠裕島津家三十三代・島津興業副社長などが出席し、話しをされた。

これらの方々に「・・・残酷に暗殺」について、これがどのように間違っているか資料を添えて写真を送りました。

平成二十五年六月、これもまた延び延びになっていた「東京ゲート記念館」を訪問。記念館創設者、粉川忠（こがわただし「夜の旅人・阿刀田高著」のモデル）の娘さん、粉川美那子さんの特別な計らいで、ゲート関連の膨大な図書と資料が収納されている書庫に入らせていただいた。

その場で「ファウスト」の最初完訳者、森鷗外の記念館を訪問した。その後、谷中銀座、夕焼けだんだんなどを散策し、シャレー・スイスでチーズフォンデュを賞味した。

ファウスト（高橋義孝訳）の口上の中に、

不運にも面白い目を見ずに死んでしまった

親しい人たちの名を呼んで悼むのだ。

とある。われわれは幸運にも面白い目を見ながら、生きている。

平成二十七年一月、日本オランダリーチエーション協会の新年賀詞交歓会にて、甘利内閣府特命担当大臣の挨拶に続いて、なんと加治屋義人先輩が農林水産副大臣として挨拶に登場された。

「私も玉龍です」と声をかけると、非常に喜んでくださり「お茶でも飲み、是非いらっしやい」とありがたいお言葉。早速、有志に声をかけ、折角ですからと議事堂内の見学をお願いした。

秘書の池田邦茂（玉龍で元生徒会長）さんの案内で議事堂内に入ると、幸運にも参議院本会議を傍聴し、安倍晋三総理大臣、麻生太郎財務大臣などの演説を聞くことができた。お昼に議員食堂で昼食をこ馳走になっているところへ尾辻秀久さんがご挨拶にいられた。

農林水産副大臣室に場所を移し、加治屋さんを囲み、野球部員の藤田晃洋君、人並み以上に応援に熱中した稲森悦郎君など、当時の試合のスコアを見ながら思い出話をひとしきり。副大臣の椅子に座らせていただいた記念撮影をした。



甲子園出場でも野球部員が少なかったのは、レギュラーにならないと退部して勉強に集中したからだそうです。

生憎の雪の日ではあったが、場所を有楽町のニュートキョウに移して、ワインとソーセージなどで、延々六時間あまり話は尽きなかった。

最後ではあるが、最も重要なこととして、八期通信は今回で最終になりそうとのことであるが、是非とも継続をお願いしたい。

紙媒体での八期通信は休刊でも、PDF形式などの送信やネット上での掲載をお願いしたい。この手間のかかる厄介な役割を是非とも、大石慶二君にお引き受けいただきたい。

自分でパソコンを操作しない方は、子供や孫たちに協力をお願いすることで、シババの交遊の広さを認識させる副産物を得られる。

そのために、できれば年に二回、正月とお盆の家族が集まりそうな時期に見られるようにお願いしたい。

玉龍でもまれな特筆に値する「八期通信」の継続をお願いします。

八期通信アーカイブス

2005年 第11号
吉村 弘子（5組）



スポーツ大好きだった私は、玉龍に入学して、どの部に入ろうかと迷った。中学時代はバレー部で、背の低い私は、泥まみれになって拾うことばかり。そこで、短距離走が得意だったので陸上部を考えた。中学時代、鹿児島市陸上競技大会で、清水中は女子400メートルリレーで優勝した。そのメンバーは、中村、松井、竹之内、田近。4人は共に玉龍に入学したので思い出深い。ところが、長田中からこの大会で100メートル走トップのタイムを持つ平岡さんが入部していた。争う自信がなかったのをやめた。

身長に関係なく出来そうなのがテニスだった。末富節さんとダブルスを組めて、テニス部顧問の青柳先生に指導を受け、練習に励んだ。練習の甲斐があって、1957年に開かれた全日本軟式庭球大会（秋田県）に出場の資格を得た。団体戦は鹿児島女子高だった。ところが、その頃、野球部絶頂、バスケット部、体操部と大会出場が決っており、たった2名なのに運動部の予算がないと出場を断られた。2人だけで出場させるわけにいかない、引率もいるということだった。でも、あきらめられない2人は、校長室へ向かい交渉した。簡単に認めてもらえなかったが、私達は自費で行く事を申し出た。

こうして、やっと池畑校長の許可が出て、引率については鹿児島女子高の袴先生（元、玉龍講師）に青柳先生が頼んで下さり、私達は鹿児島女子高と行動を共にしたのです。

全国から集った選手達に秋田県は、前夜祭で平燈を披露して歓迎して下さいました。夏の暑い中、厚い布団をかぶり、白米のおいしかったことが忘れられない。試合には早々と負けましたが、出場出来たことに意義ありと、48年たっても忘れられない思い出です。

八期通信アーカイブス

2008年 第14号
沖野 芳子（6組）



終戦後、奄美群島は日本本土と分離されていた。米国海軍軍政府、北部南西諸島命令により『大島支庁』の名称を変更して『臨時北部南西諸島政府』と呼称することとなり、同時に鹿児島県とは遮断されてしまった。

昭和28年12月28日、奄美群島が日本に復帰した。私が中学2年の時であった。万歳、万歳！

鹿児島の高校へ進学したい。希望に燃えて両親に胸の内をうち明けたが「経済的に無理だ」と、許可してもらえない。「蛙の子は蛙。百姓の子に学問はいらない」等と、祖父母も猛反対であった。一人っ子の私は、当然、農家の跡取りと決められていたようだ。

「私は農業はしない。財産を売ってでも学問をさせてほしい。私の身に付けた財産は、泥棒や火事にあっても無くなることはない」等、懇願して、ようやく説き伏せに成功。

いざ、鹿児島行きとなると船旅である。当時は、接岸施設はなく、貨客は全て手こぎのハシケで、しかも沖合1,000メートルの洋上に停泊する本船（金十丸500トン）まで、遠浅のサンゴ礁の間を縫うように往来する。そのうえ夜間寄港の為、人命をも脅かす極めて危険な状態であった。それは、沖合では波のうねりも大きく、上下に揺れるハシケが上にきて、本船の舷門と平行になった時「サァ今だ」と飛び乗る。命がけであった。

鹿児島に辿り着くまで2泊3日。船は上下左右に揺れに揺れ、鹿児島港に到着する頃は、胃液まで吐露する有様。

当時は、電話もテレビもなく、島との情報交換は文通のみ。玉龍に入学できた事で、私の人生バラ色と大喝采だった！

私の賞味期限

谷川 二郎（1組）



寝る前には今日一日も無事に終わったと安堵し、翌日の朝、目が覚めて「まだ生きていた」と喜ぶ。最近はこのように気持ちで毎日を送っている。

昔は五十歳を超えると年寄りと思われた。今年（平成二十六年）で私は七十四歳になる。七十歳を超えると年を取ったという気持ちになるようだ。

私が住む町では、老人会員になる資格（？）は、七十三才である。老人の数が増えてきて、老人会が財政的に持たなくなるためか（？）会員になる年齢資格は高騰（？）してきている。

しかし、今年はこちらの意思には関係なく、自動的に老人会の仲間入りである。ああ私も老人扱いになってしまうのかと淋しい気持ちになり、私の人生の賞味期限が迫って来る思いに駆られる。

最近読んでいる本といえは、五木寛之著『生きるヒント』シリーズ、藤本義一著『人生の賞味期限』石原慎太郎、石原結實対談『生きる自信』江原啓介著『天国への手紙』大津秀一著『死ぬときに後悔すること』といったような、老後をどんなに有意義に過ごすかをそれぞれの人生経験に基づいて書かれた先達のメッセージである。



こういった書物から「老いを生きる」ヒントをいろいろと教えられるが、よし！こういう気持ちで生きてやるぞといった絶対的なものにはこれまで出会ったことは残念ながら無い。

それは自分自身で見つけ出さなければならぬのだと思う。だって、人はそれぞれ違うし、人生もそれぞれ、男も女もイロイロだからである。でも何か基本的な同じものがあるような気はする。

私の賞味期限はいつだろう？またどんな基準でもって賞味期限と考えたらいいのか？と自問自答する。仮に私の賞味期限をこう定義してみたい。生きていることをうれしと感じることが無くなる時、ときめきを感じなくなる時を賞味期限と考えよう。

身体的には、自分で自分の身の回りの世話が出来なくなる時、精神的には、自分で考え判断したり決定したり出来なくなる時、人生を味わいながら生きれる期限。

さて賞味期限が切れたらどうしてか？と終り「死」を意味しない。そして賞味期限の切れたらどうしてか？と終り「死」を意味しない。

期限が切れた後の状態である。年を取ると子供に戻るとよく言われるが、若いころには覇気に満ち、人や社会にもそれなりに貢献をして来たと思われる存在が、人生の終点では、思考力や判断力を喪失した駄々っ子や拗ねっ子のような状態に終わってしまうのでは、何のための人生だったのかという疑問が起こり、時には怒りさえ覚える。

自分の人生に何か意味があるかと考えるのが間違いないのかも知れない。しかし私は何か意味があると思いたくなる。

賞味期限が切れた後では、人生を考える思考力や喜びの感覚などが失われてくるのではないかと恐れる。これでは終わりよければ凡て良しにはならない。この疑問に今はそして今後も私は答えられそうもないし、また誰かが適格に答えるのに出会ったためしもない。残念ながらこの怖い疑問には答えられない。

しかし、大事なことは、消費期限が切れるまでいかに人生を如何に「おいしく」生きていくかであり、食料品や物品に表記されている賞味期限が何日かの猶予が盛り込まれているように、賞味期限を少しでも長く先に延ばして行く工夫をすることである。

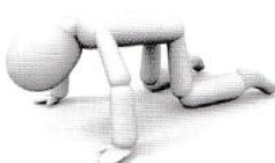
ということで、ここでは消費期限の話まで話題を延ばすのではなく賞味期限の切れるまでの話にしておきたい。

還暦の六十歳になった時、第一の人生が終わったと思い、これからは第二の人生と考えることにした。

第二の人生では、第一の人生ではやらなかったことをしたいと思った。これまで経験しなかった何か新しいことを！しかし、新しく仕事を見つけるとか、何か起業するとか、大きな夢を抱くとかいったデカイことは、年齢的にも財政的にも無理な話である。年金生活でも出来ることでなければならぬ。それは生き方を変えることである。

私の人生は、今思うと後悔と痛恨の想いの連続であった。あの時にはこうすれば良かった、もっとこうしておけば良かったという下衆の後知恵である。私の人生を車の運転に例えるなら、一旦停止すべきところで、チョット立ち止まって考える余裕を持たず、スピード違反で猪突猛進して見たり、果ては一方通行のところを急がば回れと突っ込んで、反則切符を切られたり、時には出口のない路地に迷い込んだり等の失敗の連続である。（最近では、有難いことに反則切符を切られることがとも少なくなりました）

出来ることならもう一度人生をやり直したい思いである。そうしたらもっとましな人生を送れるかと望む。それは出来ないことなので、出来ることは、自分に対する後悔の念の強さを和らげ、その時はそうせざるを得なかったのだと自分を許すことである。



とにした。そうすると気分が少し楽になる。

次に今までになかった自分になろうと考えた。それは日常的な些細なことから自己改変を始めることである。最近のテレビでは、医療や健康に関する番組が増えてきて、自分の生活の中に取り入れてみたいと思うものが多々ある。

そこで「健康」を旗印に、体に良いことをやってみることとした。食生活の改善で、食物繊維の摂取を増やすこと、起きてすぐに水やお湯を飲むこと、毎日の排便、適度な運動、十数年前から始めた氣功と歩行、余りお金の掛らない健康サプリメントの摂取、十分な睡眠を確保すること等をやっている。



便秘と排便で悩んでいる人が多いと聞く、私は便秘を改善するために眠れるので有難いが、排便の方は苦勞している。便秘を催して便秘に座るとデカイ、何度か頑張って努力するもダメ。諦めて立ち上がってトイレを出ると今度は便秘を催す。それを何度か繰り返す辛さ。クソ！自分の体なのになんでいうことを聞かないのだ！毎日排便する習慣を作るために苦勞している。柑橘類を欠かさないとか、絶対にトイレに行くことが工夫している。

年を取ってくるといつても周りの人々よりも自分のことだけに気が回ってしまふ愚痴狹窄が起る。

「生きていく」ためには、毎日色々な小さいことを持続的にやり続けていかねばならない。それが物理的に出来なくなると、あるいは精神的にやることを諦めてしまふと「死」が手ぐすねを引いて待っていると、自分に言い聞かせている。

生きていくということは『何かをする』ことである。人は何かをして生きている。『何かをする』ことがあることが私の興味対象がまだ切れていないことだと思う。

私は現在、仕事のようなボランティアのようなことをしている。低所得者やホームレスの人々の為に仕事と住居をお世話している。あるNPO法人に所属している。私の担当は、路上生活からアパートに移った後の一人暮らししている人々のお世話である。最近生活保護費の膨大化とその悪用が問題となっているが、生活の受給が「生きる」ための助けとなっている人々の数は多い。

非人間的な生活環境は、これらの人々の興味対象を確実に縮めている。しかし受給者がこのまま増え続けるとこの国の財政は破綻してしまうという矛盾に出会う。私たちの存在や生活は多くの矛盾から成り立っている。そしてその矛盾を解決することは難しいことが多いし、生活保護費の問題もその一つと考えよう。

このNPO法人の下で、一人暮らしの世話をすることが、私の興味対象を延ばすのに役立っている。一週間のうち土曜と水曜日を除いて四日間、事務所に出ている。

私たちがお世話してアパートに入居した人々の数は、ここ数年で五百名位になる。私の仕事は、これらの人々を訪ねし、安否を確認することです。

これらの人々の約九割は、かつては路上生活をしていたホームレスの人々である。ホームレスとは帰る家のない人というより、親子兄弟や親族、友人、知人など、すべての人々との人間関係を喪失した人のことと私は言いたい。

シエイクスピアが言うように、舞台の上の役者のように人はこの世で色々な役を演じて生きている。私たちには会社社員とか弁護士などの社会的意味での職業、父親や母親、夫や妻などという家庭の中で位置付けの人間関係があるが、ホームレスの人々は、こういったすべての人間関係の「絆」から排除された存在になっている。路上で人が亡くなると、人の目に留まりやすいが、アパート暮らしの人には、死後何日が経ってから発見される孤独死がある。誰にも看取られずに死んでいくのは悲しい。

一人暮らしをしている人々を訪ねて気づいたことの一つは、何回か訪問して暇しくなると、彼らが人と話をしたいという気持ちが分かる。

話の話題は特にあるわけではないが、人と話すことを喜んでいる様子が伺える。従って、私の訪問の目的は、彼らの話を聞いてあげることになる。孤独は自ら求めた結果ではなく、周囲の人々から遠くへ置かれた壁の外の孤独という側面もある。しかし、自分のことを自分でやれず、自ら自分の消費期限を早めている人々に知する社会の目は厳しい。ここにも矛盾が存在する。

人の話を聞くのが私の仕事と云ったが、人と話し合う機会を与えて貰っているのは、これらのひとり暮らしの人々ではなく、実は私の方かもしれない。そして一人暮らしの人々の生活を見て「自立」とは何か「生きる」とは何かを教えて貰っているのは、私の方かもしれない。

楽しさという点で、私の興味対象を引き延ばしてくれるものとして、囲碁と百円温泉がある。

囲碁は大学生時代に覚えたが、筋が磨けて中々上達しない。日曜の朝にあるNHK杯争奪戦の対局の面白さがやっと最近わかるようになった。休みの日には囲碁ばかりうってという家内の小言に悩まず、不動産をやっている善友と対局を楽しんでいる。

奥の深いゲームで、相手の性格や考え方で向えるところがあり面白い。私の善友の強さは、自持苦心惨憺ならぬ苦心三段です。

家から車で三十分以内に二十軒以上の温泉がある。五分以内に一番近い井天温泉があり、二十五メートルの温泉プールやトレーニング・ルーム、そして郷土品や野



葉の販売所がある。もう少し行くと樺尾、菊南、七城、迎水などの多種多量の温泉がある。さらに足を延ばすと、菊池、平山、山崎、玉名などの有名な温泉がある。私の行きつきは百円温泉です。当初はコンクリート会社の従業員用温泉として始まったものが、一般の人にも新しく新築されて開放されたものと思われる。



を返す礼は忘れない。

普通の温泉や大衆浴場では交わされないこの手の挨拶は、どんな意味があるのだろうかと考え、最初は見知り合い同士の挨拶かと思ったが、どうもそうではなく、浴場に入る時に浴場に入っている人たちが全員に呼び掛けられた挨拶だと分かった。番台があれば、百円という安い入浴料に対する感謝の気持ちを、そこに座っている人に掛けられよう。その感謝の気持ちを代わりに入浴中の皆さんに掛けたと推測される。

この挨拶の習慣は、新築される前の従業員用温泉の時からのもので、その時は浴槽が一つだけで、そこに五人の人達が九十九折に向かい合って足をまげて入る大きだった。まさに家荘の風呂を少し大きくした程度のものでした。この小ささが家荘的な雰囲気を作り、他の大きな温泉には見られない挨拶の習慣を作ったのかもしれないと思う。

この温泉には、夫婦で来る人も多い。上がる際には、お互いに声を掛け合っている。「おーい、あがっせ」と声に「はい」と返事が返ってくる。女湯の方から「お父さん」と声があり、夫ならぬ別の人が「わかった」と返して笑いを貰ったこともある。その人も夫婦で一緒に来たのであろう。

それにしても、長年連れ添いあってもまだ奥さんの声が「分らない愛」のか？これも小さな温泉でなければ聞かれない夫婦のやりとりである。

五木さんの喜びの内容は、大きな喜びだけではなく、実は他愛のないもの、例えば新幹線の窓から富士山が真正面によく見えたとか、買ったボールペンが実に書き心地がよいとか、安くてうまい焼肉屋の井田の最後の一個にありつけたとかいったのです。

「喜びたい心の触手を大きくひろげて待ち構えている」と、色んな喜びが自ずからやってくると五木さんは語っている。

私たちの消費期限を少しでも延ばすためには、喜びという人生の甘味料は命の続に欠かせないものです。

八期会のみなさんの消費期限が伸びれば、八期会自身の賞味期限が伸びることになります。皆さん頑張らしましょう！



友を想い、元気に

「生かされている」ことに感謝()

村上 久幸 (旧姓 前田)



今度の誕生日で「後期高齢者」を迎えられそうだが...

思い起こせば、六十歳で「血管年齢八十歳」と診断され「がむしゃらな仕事ぶり」を息ついて見詰めなおす機会(天の声)を得られ、六十一歳で、三十九年の会社員生活から卒業、早速タバコを止め、健康への生活習慣に挑戦したが、時すでに遅し...で、眼底出血網膜剥離などで「左目」は視力が戻らず...数回の入院生活を繰り返して、今日をむかえました。

「生かされている」ことに感謝しながら「男の平均寿命八十歳」まで元気で生きのびたら...「祝い金」を奮発しろよ...の心境ですハハハハハ。七十歳すぎても会っている小、中、高の同級生が数人いるが、隆重(中村)さんもその一人です。

彼は親の保育園を継承してから着々と事業を拡大し、さらに前向きな新たな目標を経営に反映させている。「大した男」だと感服している。

彼の生き様を...客観的にみると...

○「アンテナが多く高い」

○「一方聞いて沙汰するな」

○「子子孫孫までの繁栄を見据えた経営」

○「利害関係のない人間関係を大切に」

○「平常心」自律神経のバランスと謙虚さ」が良い決断環境を育て、決断を生む

○「短所」も見方を変えると「長所」

などなどの「人生信条」が、生涯現役の彼を支えていると思う。益々の「堅実経営」と子子孫孫までの繁栄」にエールを送りたい!!

「健勝を祈る!!」

桜島山頂で一緒に食べた握り飯うまかった、柔道部の汗まみれの練習、玉龍高校甲子園へ...一緒に(私は、ついに生い茂った甲子園の外壁しか覚えていな

い...受験で東京へ鈍行列車で一緒に(通路に新聞紙をして...などなど、彼との学生生活がなつかしい。

農事組合法人・根占生産組合理事 中村 隆重さん



なかむら・たかしげ 1939年、南大嶺町出身。法政大学卒業後、東京の運送会社に就職。66年に帰郷し、父が営んでいた保育園の運営に携わる。72年の白鳩会設立に伴い、理事に就任。75年から現職。根占生産組合法人は設立当初から理事。中村麻子代表理事は長女。

農事組合法・根占生産組合法は、障害者の自立・就労を目的に「花の本農場」で茶や大の生産、経営を一手に担う。福を福し、生産から製造、販売まで一貫して「安心・安全」な茶を提供、事業規模を拡大している。同組合法で、労働力の供給源である社会福祉法人「白鳩会」(代表理事：中村麻子)と連携し、今後の展開を模索している。

障害者と「6次産業化」

農畜産物の加工・販売まで

1978年、農事組合法「根占生産組合法」設立。代表理事は中村隆重さん。1994年、2010年度売上高1億2,000万円、従業員73名。7308円、従業員1人あたり10人。おすの園」も展開。

「花の本農場」は、1978年、農事組合法「根占生産組合法」設立。代表理事は中村隆重さん。1994年、2010年度売上高1億2,000万円、従業員73名。7308円、従業員1人あたり10人。おすの園」も展開。

私のビジネス戦略



運転免許証返上の覚悟

角 洋子（4組）

前の東京五輪の年に車の免許を取得して半世紀、無事故無違反、自損事故無しでゴールドドライバーを続けていましたが、一昨年初秋に、車ならぬ私がダウンしてしばらくハンドルを握れなくなりました。

愈々まではとの思いもむなし、主治医の「もう止めたら」に逆らう勇氣も無く、二年近く時は過ぎ行き……

さすがに次回は、車検を諦めて愛車を手放そうと考えています。

そのときは胸がキュンと、恋人と別れるよう、ではないかと。

恋人が去った後は、辛いというか今年初めから「フランス語でシャンソンを歌う会」の先生の助手役を引き受けていますので、そこで遅咲きの小さな雑草の花にでもなれたらと今から心の準備をしています。

自づと歩く楽しみも見つけて、日々を自然体で過ごして行きたいと願う昨今です。



八期通信アーカイブス

2006年 第12号
木嶋 義孝（1組）



ワー！綺麗に咲いていますね。渡開のアメリカタ水木を見上げての通りがかりの人の挨拶である。

5月の連休で帰ってきた7歳と5歳の孫達と遠郊で近くの山で、探った竹で竹馬を作っている時、周りの住人達が寄って来て、懐かしいな！と色々竹馬の作り方を教鞭をしている時、最近では地区住人の挨拶人も多くなった。

孫達は竹を鋸で切ったり、ノミで削ったりが危なっかしい手つきながら楽しそうであった。また、完成した竹馬も支えないと乗れなかったが、代わる代わる何回も乗せられた。

アメリカタ水木は、白いシンプルな花の後は、新緑の葉っぱが夏場の日陰をもちらし、秋には鮮やかな赤褐色の紅葉となり、紅葉の後は、さくらんぼのような綺麗な赤い実がなり、小鳥の冬の間にもなる。

枝葉の剪定や、道路に落ちた落葉や、花弁の掃除など手間はかかるが、1年を通して有用な樹木である。

37年に大学を卒業して、空調メーカーに勤務し、65歳まで約43年間、主に商品開発に携わり、会社を介して生活の糧を得ながら創造と信頼を生きがいにして、社会に貢献出来たことが誇りでもある。欧米の物まねでスタートした会社も、今では技術を誇示した商品やシステムを欧米に販売するまでになっている。

会社を退職して1年半になるが、この間に一途なサラリーマン生活の場当たりとして、温泉などでも身の静養を図りながら、シニアとして健康と生活のハリをどのように維持していくかについて模索し、実践してきた。

八期通信アーカイブス

2009年 第15号
中元 芳彦（2組）



遠藤の頃、連続して病に侵され苦しい思いをした。それまで住んでいた横浜市街地は、ケアのための通院には便利であったが、空気が臭になっていた。

そこで、きれいな空気を求めて5年前にこの地に越してきた。緑が多く残っていて、小鳥のさえずりも自室で聞くことが出来る。越してきてから散歩の習慣が付き、庭を見つけては歩きに出る。散歩のお蔭ですっかり健康を取り戻した。

今では散歩が日課で、時々、尾根道のハイキングコースに分け入り、鎌倉まで足を伸ばしている。

私の好きなコースは、天園から早春の花・水仙で有名な『瑞泉寺』に下りるコースである。途中、鎌倉幕府最後の執権北条高時の首塚と伝わる『首やぐら』がある。

やぐらは、中世の上流階級（武士や僧侶）の横穴式の墳墓で、鎌倉市旧市街を取り巻く丘陵部などに密集して存在している。

瑞泉寺で親類の墓参りをして引き返すと、往復約4時間のハイキングとなる。

掃り道（ハイキングコース）の途中、横道にそれて十二所神社のコースを辿ると、鎌倉街下の道・金沢街道に出る。

今では旧道に平行して車が通る舗装道が整備されているが、古道金沢街道は、比較的静かな雰囲気を残している。

十二所寺道から右にそれると古道に出る。やがて行くと『太刀洗』の湧き水場に出る。



ドイツを中心とする都市体験

中間 一範（1組）



◆グーテンターク！

小生の海外へのフライハート旅行は、娘二人と共に成人を迎えたのを記念して、家族四人でイギリスからドーバー海峡を渡り（現在はユーロトンネル）フランス・スイス・オーストリア・ドイツの五か国を十四日間で走り、ユーレイルパス利用の鉄道乗換で旅したのが皮切りで、ここではドイツのことに触れながら娘妹在住のフランクフルトを起点にして、鉄道一踏でいつかこつへ参るつもりで内路の「第一」の都市の見初めた奥深い異文化について少し調べたところの土地の歴史や云われていること、観て感じたこと、生活の様子などを記してみたいと思う。

◆ドイツという国

Ⅱ地理・国家像Ⅱ

国土面積は、日本と同じぐらいの大きさで四季があり、十六の州から構成される連邦共和国国家で、各州はそれぞれが主権を持ち、独自の州憲法、州議会、州政府および州裁判所を有し、首都はベルリンにある。

Ⅱドイツ人の好みⅡ

まず、世界一の旅行好き（アメリカ、イギリスと続き、日本は第十位）で、一ヶ月連続の休暇を一年に一回取るのが普通とされ、特に夏場になると家族旅行なんかで一箇所に滞在してゆっくり過ごす人が多い。

この連続休暇のイメージは、普段できないことをする為のモノ、リフレッシュする期間で、そのために日ごろから「節約は収入と同じぐらい大切」というドイツの国民性もあるくらい慎重しやかな生活をして節約にいきなり、大いなる旅行を楽しむ。自然食品や有機栽培の製品を好み、環境工コオタクで健康オタク、環境に良いとか健康に良いと言われる物に目がなく（データを示せばなお完璧で）世界一オーガニック（ソーセージ類）にチーズ、コーヒータイムと伝統ケーキにチョコクレートをよくよく好む。

Ⅱドイツ人の気質Ⅱ

理屈・論理性を重んじ、質の良いものの耐久性のあるものを好み、ファッションにはあまり気を使わなくて平気、日常生活は質素で整潔、読書好き、几帳面で分類整理好き、真面目、規律正しくある反面、権利主張、世間体を気にしない自分重視主義、女性（恋人）相手でも割り勘原理主義を美し、結婚する際の財産の分け方などを決めた結婚契約書を取り交わしてから夫婦になるカップルが多い。

また、普段から無駄のない合理的・効率的な生活を子供に教わらなければならない、家の中から家具、衣類に至るまで「自分」と手入れをして長く大切に使うのは当たり前、キッチンはいつも超キレイに磨かれ、「世界一きれいな好国民」心持よい空間を大切に作る掃除上手で、部屋はいつも整理整頓が行き届いていて、オフィスの書類などの分類・整理も整理よく工夫を凝らすのが上手と云われる。

Ⅱお国柄Ⅱ

法律や規則をあくまで順守し、秩序を重んじて曖昧さを嫌う、中でも騒音法に則り、夜十時以降ではパトカーや救急車はサイレンなしで走り、特に日曜・祝祭日の店舗営業、広告類（交通案内等のポスターを除く）が一切認められない。

日本社会では、重い病気など事実をオブラードに包んで、他人に気持ちを傷つけないように配慮して「うそも方便」での伝え方が美徳とされるが、ドイツでは事実を包み隠さず、はっきりと伝えることがきわめて重要で、この背景には「神様の前で嘘をついてはならない」という、キリスト教的な倫理観もあるような気がする。逆に気配りすることなく、自分の感じた不平不満は堂々と言うことが多くても、感情的なわだかまりが残らない基本的な許される社会である。

多くの人が住むアパートの通路・エレベーター前・階段の電灯は、普段は消灯しており、点灯後も自動的に再び消灯し、地下鉄駅のエスカレーターも階段は止まっている人の気配で動き、ここでも便利・エコ推進の精神が見られる。

通勤や近郊へ出かける道中の乗り物では、車内のアナウンスが一切ないせいなのか、または他国と陸続きの地に住むに欠かせない注意力が体に染みついていてなのか、読書をしている人はめったにいない、読書もなく、分厚い伝記モノ、宗教書が読書らしき本を読んでいる人はよく見かける。

Ⅱ食料品類のまとめ買い、買い方の仕組みⅡ

食料品類は週末にスーパーマーケットでまとめ買いする人が多く、買い方の仕組みは、このスーパーでも入口と奥の異なるレジの前のベルトコンベア風のごとくに、自分の買ったモノ全部を力コから出して並べ載せて、仕切りバーを過ぎながら前の人のレジが済むとコンベアが動いていき、レジ係りの女性からハロ

並みが眼下に広がり、エレベーターアクセスで上がって旧市街地へと向かう。車の往来も少なく、木組みの家がよく保存されており、ルターが宗教問答を行ないマールブルク会談の舞台となったこの街の丘上に位置するマールブルク城、ドイツ国内で最も古い純粋なゴシック建築で、ケルン大聖堂の建築モデルとして取り入れられたとされる聖エリザベート教会がある。

また、一五二七年にドイツ最初のプロテスタントの大学として設立されたとされるマールブルク大学は、名声を保ち続け、現在も街の人口、七万五千人のうち一万五千人を学生が占めるという大学都市となつて今日にあり、ドイツに古くから語りつがれてきた実の昔話を拾い集めて編集したグリム童話集を完成させたグリム兄弟は、一八〇六年から約三十年間この町に住み、この町この大学で学んだと云われる。帰りは歩いて駅へと向かった。



マールブルク城



聖エリザベート教会



広大なアルスター湖と街並

◆港町ハンブルク（フランクフルトから北方へ約二時間半）

北部ドイツのハンブルクは、ヘルリンに次ぐドイツ第二の都市。ドイツにあつてヨーロッパ最大規模の港を有し、中世にはハンザ同盟（王侯貴族の支配を受けない自由都市の連合体）の中心都市として栄えた歴史ある街として知られ、フラームスが生まれ、ビートルズがデビューした音楽の街でもある。

また、十三世紀初頭に水車に水を引くためにエルベ川の支流のアルスター川をせき止めて造られたというアルスター湖は、水の都ハンブルクの象徴ともいえる存在の大会の中心地にあるとは思えないくらい巨大な二つの人口湖で、市民の憩いのオアシスとして、また遊覧船もあり、いつも賑わっていて、その美しさは「ハンブルクの真珠」と呼ばれるそう、途中下車して遊覧船乗りなどで時を過ごした。

また「ハンバーク」の語源は、アメリカに移住したドイツ移民が、ハンバークステーキをアメリカに持ち込み、ハンバークステーキをパンに挟んだものをハンバークーと名付けるようになり、ドイツのハンブルグを英語読みでのハンバークに由来

する（ちなみにハンブルグで「ハンバーク」というと、生の牛肉に生のタマネギやピクルスを混ぜた冷たい料理をさすようである）
自然に恵まれ、魅力いっぱいに遊んだ街ハンブルクは、ドイツ人が住みたい街ナンバーワンだと言つた。

◆デンマーク国のコペンハーゲンへ

II バルト海峡を渡るII

デンマーク国コペンハーゲンへは、ドイツ国から列車に乗車したままバルト海峡を渡る体験でこの列車ICは、先頭または後端が四角状の黒い異様な姿の車両で、途中、国境越えの検札を受ける。（現在はICE最高速列車も運行されている）
このバルト海峡を渡るフェリー（約一時間）は、船倉に線路が敷設されており、列車ごと積み込まれる仕組み（三〜四両）で、陸から船への船から陸への自力移動時の車両のたつきがなく、レール差を感じないのが不思議である。

フェリー利用の乗客は、貴重品のみを身に着けて列車から降り（列車内に残る人は数少なく、残っていると怪しまれる雰囲気）、船内で食事する人、デッキからバルト海を眺めたりして過ごし、公海上でもあるので免税店で買い物をする人も多い。

デンマーク国に上陸すると、国境を超えるため車内検札（三人編成の大柄な体格揃いで、拳銃を腰バンドにぶら下けている）を受けて、列車は一語コペンハーゲンに向けて走り続ける。車窓からの眺めは風力発電塔が林立し、幾多かの鉄橋で島から島へと渡る。このルートには渡り鳥の飛来コースを避けることから「渡り鳥コース」という愛称がつけられている。



フェリーへの入出線路



フェリー船倉の様子



四角状の列車



自転車優先の専用列車

なお、世界で列車ごと積み込まれるフェリーは、他に中国の本土と海南島間の瓊州海峡を渡るフェリーと、イタリア本土とシチリア島間のメッシナ海峡を渡る二か所があり、どちらも原則として列車に乗ったままで船外に出られない。出たとしてもデッキのみで、この中国とイタリアの二航路は距離が短いこともあって、海峡大橋をかける計画があり、いずれは廃止されるようである。

◆デンマークという国

II 地理、気候 II

国土面積は日本の九州とほぼ同じで四季があり、緯度は神奈川の最北端よりやや北にあり、500以上の島々からなる北海とバルト海を分かつ半島、ユトランド半島最南端にある、山がない地震がない一番小さな国で、夏は最高二十度前後で湿度が低く、なかなか太陽が沈まない二十二時頃まで白夜のシーズンとなり、冬の気温は最低0℃前後で、ドイツと国境を接しているがユーロ非加盟国である。

III お国柄 II

世界的な童話作家ハンス・クリスチャン・アンデルセンが生まれた国で、美しい森と湖と川とでなく、知育玩具レゴブロックや陶器ロイヤル・コペンハーゲン、そして「北欧デザイン」を代表する工芸や建築の優れたデザイナーたちが数多く生まれたデザインの名産地と云われ、特にアルネ・ヤコブセンは有名である。

福祉先進国で知られる北欧の国々は、人材こそが国の宝（資産）という考え方があり、重要な働き手として女性に注目し、社会進出の際に家事や育児に問題が生じないように国策として、まず福祉面を充実させることを優先させている。

また、国会議員と医者は収入が低いが尊敬される人達だとか、金儲けの代名詞と化した、どこかの国の先生方とは大変な違いがある国である。

デンマークの消費税は、なんと二五％。所得税も所得の半分というから驚き、でも教育費や医療費は原則無料。支払った税金は、振り替わってきちんと国民に返ってくる仕組みである。

またこの国には国産車がないので輸入車の関税が高いくだけでなく、車は贅沢品で消費税が百八十％も掛かるというからこれも驚き。だから、安くてエコな自転車に乗りやすいシステムを国がつくっていて、自転車に乗った距離で税金は控除されるそう、乗れば乗るほど税金が減っていくという発想が面白い。で、車道と歩道の間に自転車道が設けられ、自転車に就ねられても歩行者側の自己責任。サラリーマンの約三割は自転車通勤で、電車にも自転車専用車庫があって、自転車を乗せて移動ができるなど、まさに自転車王国である。

◆港都市「コペンハーゲン」へ（ハンブルクから約四時間半）

北欧の玄関口ともいわれるコペンハーゲンは「商人（コペン）の港（ハーゲン）」を興したのがはじまりで、現在も港都市として重要な拠点になっており、見どころは中央駅から半径約二キロの範囲に観光スポットが集まっています。駅前ホテルをキーとし、徒歩で見て回った。

II クリスチャンスボー宮殿、人魚姫の像、チボリ公園、ストロイエ通り II

クリスチャンスボー宮殿、一八七七年創建後、度々の破壊に遭い、一九二八年に再建されたこの宮殿は、かつては王宮として使用されてきた豪華な石造りのパロック様式の建物で、現在は国会議事堂、女王の謁見の間、教会として利用されていて、国会議事堂の正面玄関の上部にある彫刻は、葉が痛い、耳が痛い、目が痛い、歯が痛い、喉が痛い、この五体の「四痛」を表し、収入が低くても元気で働くようにとの国会議員への警告だとか、この歴史・ユーモアの魅力に感心した。



クリスチャンスボー宮殿の四痛像



人魚姫像前にて



チボリ公園正門

人魚姫の像は、海岸沿いに飛び出した岩の上で一人佇む身長八十センチの像で、想像に反して小さく、ほんとに寂しげで、その背の細い線には哀愁がたじろぎ、美しい物語を思い起こさせる優美な姿をしていて、アンデルセンの童話「人魚姫」から一九一三年に造られた。

チボリ公園（一八四三年開業）は、世界最古のテーマパークとして知られ、各種遊楽施設や売店、レストランも多くある遊園地で、夏時間には夜、イルミネーションが点いてからが最も賑やかになる。家族で遊ぶまで楽しめる憩いの場でもあり、他国でディズニーランドができる前は、世界最大規模の遊園地であったと云われる。ストロイエ通りは、世界初のモデルになった歩行者天国（一九六一年発足）で、時間を忘れてしまうほどバラエティに富んだショップが立ち並び、手描きによるコバルトブルーの絵柄が特徴の陶磁器、ロイヤル・コペンハーゲン本店（一七七五年創業）は、この通りにあり、ストロイエとはデンマーク語で歩くことを意味する。

◆コペンハーゲンからヘルシン（約六時間、ハンブルクまでは往復の旅）

ドイツは、かつてボンが首都で、首相アデナウアーの名を思い起こさせるが、調べてみると首都をめぐる歴史の経緯があり、もともと中世のドイツは小国が林立し、一八七一年、プロシヤ王国ウィルヘルム一世の戴冠でドイツ帝国として統一され、ベルリンを首都とした。

一九四五年、第二次世界大戦に敗北したドイツは、一九四五年、ボンを暫定的な

首都とするドイツ連邦共和国（西ドイツ）とベルリンの東部地区（東ベルリン）を首都とするドイツ民主共和国（東ドイツ）に分裂していたが、一九八九年、ソビエト連邦のペレストロイカに端を発した東ドイツの民主化運動をきっかけにベルリンの壁が崩壊し、翌一九九〇年、再統一を達成し再びベルリンを首都と定めて以降、旧東ベルリンを中心とするベルリンの再開発・インフラ整備と、ボンからベルリンへの連邦政府機能移転による実質的な首都機能移転が順次進められ、二〇〇一年五月二日にベルリンへの首都機能移転が完了したと云う波乱に満ちた遷都の歴史が刻まれている。西駅内にホテルをキープし、市中バスでブランデンブルク方面へ出向いた。

II ブランデンブルク門 II

ドイツマリアソンのスタートとゴールとなる地点でも有名なこの門には、勝利の女神ヴィクトリアの像が四頭立ての馬車に乗っていて、その向きはどちらを向いているかが気にかかっている。門の正面部が広場の東に面して中心部を望む東を向いていることが分かった。

門の建造は一七九一年で、要塞を廃止した代わりに市街地全体を大きく取り囲むように、ベルリンの税関壁としてアテネにあるアクロポリスの門であるプロピュライアを模し、高さ二十六m、幅約六十六m、門の両面には奥行き十一mの横桁をささえる六本のドリス様式円柱が立ち並び、五本の通り抜け通路に分かれていて、ベルリン州政府の決議により二〇〇二年十月以降、バスやタクシーなども含めて車両通行が禁止となり、現存する唯一の都市門である。

II ベルリンの壁と崩壊 II

ベルリンの壁は、一九八九年に崩壊し東西が統一されたが、なぜ西ドイツと東ドイツの二つの国を引き裂く壁が造られたのか。真相は社会主義国東ドイツの経済状況は、一九四九年建国以来ずっと悪化の進みが続いて行っており、経済成長を続けている資本主義国西ドイツへと国を去る国民が、二百万人にのぼる。東ドイツ政府高官は、この流出事態が続くようでは社会主義国家という自国の存在は作れないと見え、一九六一年に西ドイツをぐるりと取り囲むように東ドイツと分離する、長さ約百五十五km、高さ約三mの壁を作って、強制的に留まらうようにしたことが所以である。

では、この壁の崩壊劇であるが、当時社会主義国家であったハンガリーは、国民の不満から自由化の動きが強まり、国境の鉄条網を撤去して、必要であったビザの発行に国境警備兵も進歩的に扱って、西側自由主義国家であったオーストリアへ入ることができるようになり、当時社会主義国への旅行が可能であった東ドイツの国

民は、これに目を付けるのは当然で、ハンガリー経由でオーストリアに入り、そこから西ドイツへ逃げる手段が蔓延し、これに端を発して自由化を求めることを公然として反政府デモをするようになり、デモへの参加者が次第に増えて、政府も阻止できなくなるほどの勢いになっていき、正当な理由があつて西側に行くものにはビザを発行する方針を打ち出したのが、只今をもって自分の好きな所へ自由に旅行しても良くなったとの政府の許可発表とのすり替わったニュースが流れて、壁に詰めかける市民が殺到して壁を開けるの大騒ぎに発展し、ついに政府が東西ドイツ国境開放を発表し、二十八年の歳月を経て分断していたベルリンの壁が崩れ、東西ドイツの平和的統合をきっかけに東欧でも民主化が進み、社会主義政権やソ連も崩壊し、長きに渡る西側と東側との冷戦の終結を迎えるという歴史的な革命が世界平和をもたらしした。



ブランデンブルク門にて



連邦議会議事堂のドーム



ベルガモン博物館の陶器壁画

II 連邦議会議事堂、ベルガモン博物館 II

連邦議会議事堂は、太陽の動きにあわせて常に角度を変え、直射日光を議場に入せず、かつ議場を常に明るい光で満たすよう頂上をガラスドームでフログラミングされていて、観光シーズンには二十二時まで開館されるベルリン観光の目玉である。ベルガモン博物館は、古代遺跡を移築したベルガモンゼウス大祭壇の微細なモザイク画を始めとする浮彫の彫刻や彫像・石像、青色彩色の陶器壁画など、ギリシャ、ローマ、トルコ南部を含む中近東のヘレニズム美術品、バビロニア美術品、イスラム美術品が展示されていて、紀元前の昔にタイムスリップすることができる。

◆ 国王離宮の町「ポツダム」、音楽の町「ライプツヒ」

ベルリン周辺の最も魅力的な観光地と云われるポツダム、ドイツ降伏後の一九四五年のポツダム会談（第二次世界大戦最後のアメリカ、イギリス、ソ連三国による歴史的巨頭会談）が行われたツエッティリーエンホーフ宮殿、当時の国王の夏の離

宮で隠れ家でもあった華麗な庭園を有するサンスーシー宮殿を経て回った。
なお、この際セツツかくであるので、音楽の父バツハが活躍し、この地でゲーテのファウストを翻訳したことで知られる森鴎外が留学したライプツヒに足を運ばし、一九八九年にドイツ再統一への道を開いた平和的革命的出発点となり、有名になったニコライ教会などを観てベルリンへ戻った。



ツエツイーリエンホーフ 聖殿



サンスーシー 聖殿中央の石像



宮殿と庭園に広がる庭園にて

◆宮廷都市「ドレスデン」へ（ベルリンから約二時間半）

ドレスデンは、十五世紀からザクセンの選帝侯や王家が居住し、十八世紀にはヨーロッパの政治・経済・文化の中心となり栄えた宮廷都市で、第二次大戦末期にイギリス・アメリカ軍による爆撃により壊滅的な被害を受け、その後復興を遂げたヨーロッパ有数の美しい装飾的バロック建築様式の魅惑的な美しい町である。

特に大戦中に奇跡的に残った陶磁器モザイク模様の壁面がある、ドレスデン・レジデンス城。この城には「ドレスデン」の君主の行列と呼ばれる壁画がシュタルホーフ（武蔵野技術）の外壁に高さ八m、長さ百二m、二万五千枚もの陶磁器タイルでザクセン選帝侯や、国王三十五人と市民階級の代表者たちが生き生きと描かれており、中央部分の馬の上でこちらを向いている（写真では見えにくい）のがドレスデンに繁栄をもたらした偉大なアウグスト王で、マイセンの陶磁器を誘致したとされるその精巧な出来栄、存在感に見惚れてしまった。さらに噴水で中庭を取り囲む多数の石像彫刻で飾られたツヴィンガー宮殿を観た。

II お菓子「シュトレン」のこと

ドイツではクリスマスと言えばケーキではなく「シュトレン」というお菓子が一般的で、クリスマスが近づくとパン屋さんやお菓子屋さんの店頭並び、クリスマスを待つ四週間の期間である、アドヴェントと呼ばれる待降節の各週末にイエス・キリストの生誕の日が近づいてくるというお祝いをする際になくてはならないお菓子で、生地にはラム酒などに浸けておいたドライフルーツ（主としてキッシュドフ）

とナッツが含まれており、たっぷりのバターと一緒に練りこんで焼いたもので、表面を粉砂糖でコーティングしてある日持ちの良いパン（ケーキ）で、身内や身近な友人とささやかにティーパーティをし、このシュトレンを薄く切って賞味する。
ここに取って記すのは、このお菓子の発祥の地は、ザクセン州（旧東ドイツ領）のこのドレスデンだと云われており、起源は十四世紀あたりまでさかのぼり、当時豊かな人たちの間でクリスマスギフトに使われていたお菓子だったという説があり、当初から高級品だったようで、現在では「ドレスデン風シュトレン」は商標登録され、ビール純粋令と同様に材料の分量が指定されているとか。基本的なレシピは存在するが、ドレスデンにある約百五十軒のパン屋は、門外不出のレシピを代々伝授して味を競い、十二月の第一土曜日に巨大なシュトレンがパレードする祭りが行われるそうである。



レジデンス城の君主の行列壁画



ツヴィンガー宮殿の彫像



お菓子シュトレン

◆チェコ国プラハへ（ドレスデンから約二時間半）

ドレスデン中央駅から再び長距離特急列車の国際列車に乗り、チェコのプラハへ向かう。エルベ川沿いに走る車窓からの美しい眺めは飽きることがなく、途中国境越えの車内検札を受けたが、乗車を機にぶら下げていかめしい大男二人が、車内を見渡しても日本人らしき人は私たちだけで、単身客でないためかにつり対面で冗談らしき言葉を交えて、何の提示も求めずの通過儀礼であった。

◆チェコという国

II 地理、気候 II

チェコは、ちょうどヨーロッパの真ん中に位置し、一年を通して四季があり、国の大きさはデンマークと同じくらいの大ささで、隣国スロヴァキアと一九一八年までまったく違う国だったのが、その後の世界情勢に対応するため、ハンガリーの一部であったスロヴァキアがチェコとの連合により二つの民族からなるチェコスロ

バキア連邦共和国となった経緯があり、而て間一八九九年、平和的分立が図られチエコ共和国として独立し今日に至る。

II 気質、お国柄 II

国民は、みんな勤勉で向学心が強く、時間に正確で、まるで日本人に似通っており、ヨーロッパでもかなり早い時期に近代工業化を成し遂げ、旧共産圏の中でもピカイチの経済成長率を誇っていると云われ、二〇〇四年にEUへ加盟している。

この国の名産は、なんといってもガラス産業で、伝統的ガラス工芸のボタン、ボヘミアンガラスと呼ばれる透明度の高いクリスタルガラスの繊細な美しいカットは、すでに十三世紀から欧州諸国の垂涎の的で、オーストリア・ハプスブルク家に支配されていた時代（十七世紀～二十世紀）にチエコ語を継承していくために操り人形での劇をチエコ語で見た人形劇（マリオネット）を継承する、国立マリオネット劇場やアニメの技術も素晴らしい国である。

加えて「一八二四年から世に出ているピルスナータイプのビール」日本で普通に飲まれているビールとはどこが違うと言った泡の消えない注がれ方、程よいジョッキも素敵でお変わりがいっぱい止まったのから分らないくらい美味しく、チエコ国がワインなどには目もくれずビール一筋の消費量ナンバーワンにランクされる訳が判った。なお消費税について食品など生活必需品には十五%、それ以外は二十一%である。ちなみに「ロボット」と言う言葉は、チエコの作家「カレル・チャペック」の小説から出たとある。ホテルは駅近くにキープし、地下鉄利用で町へ移動した。

◆百塔の町「ブラハ」

九世紀末、ボヘミア王国の首都として栄えたブラハは、多様な建築様式の歴史的建造物がそびえ立ち、中世から時間が止まったような美しい景観、教会などの尖塔が林立する様子は、百塔の町とも語られるほど数多い時代の建築様式が混在する歴史上の宝庫で、ブラハ歴史地区として一九九二年に世界ユネスコ遺産にも登録されており、千年の歴史を誇る「ヨーロッパの魔法の都」「黄金のブラハ」「建築の博物館」などと、ブラハを賛美する言葉があるほど神秘的でもある街並みの空気で満ち溢れていて、今ヨーロッパではヴェネチアに次ぐ賑わいを見せる観光都市でもある。

II 旧市街地広場の天文時計 II

時間になると、からくりが動き出し、窓に姿を現す仕掛け人形で有名な旧市庁舎の天文時計。最も古い部分は時計の機構と天文図の文字盤であり、製作は一四一〇年にさかのぼり、その後、一四九〇年頃に暦表盤の追加と時計本体へのゴシック彫刻による装飾が施された。この時計は時間を知らせるほか、月と星の位置を示し、

毎正時になると窓が開き、十二使徒行列の彫像が現れるので、この魅了し続けている珍しい光景、パフォーマンスを見ようとする人で広場は一杯になり、その中に加わり共に鑑賞した。

II カレル橋 II

街の中心を優雅に流れるヴルタヴァ川に架かるブラハ最古のゴシック様式の美しい全長五百十六メートル、幅九、五メートルの石橋で、全出入口を二つの塔に守られて、両側の欄干にはさまざまなボーズで三十体のキリスト教聖人像が並ぶ構図。この中にはフランシスコ・ザビエルの彫像もあり、かつてはブラハ橋と呼ばれていたカレル橋は、曇り空の下で暖く橋、夕暮れの中で祈る橋、灯りに照らされて沈黙する橋、そして真夜中に明るく照らされる橋とも形容され、日暮れ近くに歩きながら眺めたこれらの石像に、カミさんちその一体一体の風情に魅入り、小生もすっかり呑まれて一通りどころか二度も往った。



百塔の町ブラハの街並



広場の天文時計
(上二つの小窓が開く)



カレル橋の石像群
(後方はブラハ城)

II ブラハ城、聖ヴィート大聖堂 II

名実ともにブラハのシンボルであり、歴代のボヘミア王九世紀末に始まり、神聖ローマ帝国皇帝に選出された十四世紀カール四世の時代に現在の姿となり、現代の大統領府でもあるヴルタヴァ川を一望する丘の上のブラハ城。ブラハ城の内側にある、高さが九六、六メートル二本の尖塔が目立つチエコで最も大きい重要なゴシック様式教会の壮麗な聖ヴィート大聖堂。神聖ローマ帝国の首都となったブラハにある、六百年という長い時間を経て一九二九年に完成した。

II 大聖堂「カテドラル」の由来 II

「大聖堂は、司教（主教）の座の歴史の教会」で、その司教の座を仕大なる椅子「司

「教座」のことをカテドラル、そのカテドラルを有する教会という意味でカテドラルとい

の言葉、重厚さと景観は薄かった。

い、それらが立派で大きい教会なので「大聖堂」を意味するようになった由。

なお、ドイツの大きな川であるライン川は父なる川、ドナウ川は母なる川との呼

建築的には、ゴシック建築の幕開けをしめすもので、あのキリキリと天を刺すよ

称もあるとか。この形容から頼りになる運しき、情ある優しさの面影を連想させる。

うにとがった塔を持ち、上へ上へと垂直感の強調されたカテドラルを造る技術を完

ここに列車(二等)のことを記すと、各座席には簡易テーブルが備え付いており、

◆ケルン・ボンからコブレンツを経由してトリアへ

ライン川とローレイの岩

家族やグループには便利な個室用として区分されたコンパートメントの座席が用意

成させた様式のこと、あのカテドラル大聖堂に入ると、正面に高々とかがけられ

のある車両もあり、座席を指定すると席の網棚前面バーに名前と乗車区間が記され



ローレイの岩



コンパートメントの座席



ケルン大聖堂

空間と揺がりの光が祈る人々に「神は光なり」と言わしめたそうである。

蛇足ながら寺院の呼称は、修道院のように礼拝施設と修道士たちが神学を学びな

今なお、古代と中世が同居し、旧市街の入り口にそびえるローマ時代のボルタ・ニグラ（黒い門）は、大きな石で築いた、これ以上頑丈にできないと思われるほど堂々とした黒みある門、ここから歩行者天国に沿ってドイツ特有の切妻屋根や赤い家並、装飾が美しい建築物が立ち並び、どの家も高さや大きさは統一され、外観の装飾にも個性があつて彩りも豊かなのが見ていて楽しく、旧市街の中心地には丸みと半円強調ロマネスク様式の大聖堂、ゴシック様式の聖母教会を覗いて回った。



ボルタ・ニグラ（黒い門）



黒い門内から雪を被る家並



車窓からの眺め

またトリアは、ドイツワイン発祥の地であり、世界的ブランドとして有名なモーゼルワイン（白）の一大生産地で、昼食時に少々多めに飲んだが悪酔いすることなくとても美味しかった。

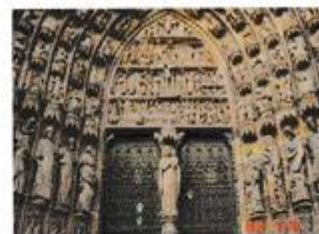
◆トリアからフランス国ストラスブルクへ（トリアから約二時間半）

ストラスブルク（仏名ストラスブール）とは「街道の町」という意味で、フランス北部アルザス地域圏にあり、ライン川のほとりに位置する都市で、中世から交通の要所として繁栄してきたドイツとフランスが領有権を度々争った町である。ホテルは駅前にキープした。

街の中心にはノートルダム大聖堂があり、高さ百四十二mの尖塔をもつ非対称の形は街のシンボルの存在。建設に一七六六年から一四三九年まで三百年も要しており、地元産のバラ色の砂岩でできた繊細な建築は、ゴシック様式の傑作といわれていて、ケルン大聖堂とはまた違ったその雄姿、スケールに圧倒される大聖堂で、毎日十二時三十分には動き出すカラクリ天文時計も人気である。さらに、ライン川の支流イル川に囲まれ、アルザスの伝統家屋である美しい木組みの家々が並ぶブティットは、自然豊かな川沿いを散歩したり、水上バスに乗りたり、風情ある中世の街並みを楽しめる観光地として人気があり、その佇まい景観に飽きることがない。

一方、ここストラスブールは、LRT（次世代超低床型路面電車）の短い七両編成が有名で、LRT導入後は環境負荷の低減やバリアフリー化で、道路交通の円滑化

につながる公共交通利用が増えたとされ、日本の各地からも視察に訪れて、鹿兒島の市電も十二台参考導入が図られている。



ノートルダム大聖堂の映像



川に囲まれる伝統家屋



超低床型のトラム

◆チユース！

これで打ち切りとするところ、おおー天国は楽園じゃって。住んでみゃはんか？ うんだもしたん。そのお声はおやつとさー。私いどんなまだ行つたもはん。ああ喉が渇いたがよ。誰いか「俺りい冷たいビールを下いやはんか」。そいがな真こて済んもはん。今ここに用意が無かつたがよ。そん変わりに私いどの愛しい口びーるならいっばい上げるよ。ホホホそいも好かね。いけんじやしたろかい。懐かしかったがよ。おつと、よだつかともう発ちつてな。皆さんもつけて出さきやんせ。ところでそのお前んさあ達ちや誰いじゃろかい。判かいやもはんか。うんにや判らん誰いや。そげんこと言つちよい奴ちや何ん組のドイツじゃー了

八期通信アーカイブス



2003年 第9号
東 佐津子（4組）

ディズニーシーを一言でいえば「スリルとファンタジーの世界」だが、これだけでは頭から湧き立ちのぼる浜崎さんの姿が見えるような気がするので、印象に残った2つ3つを思い出してみよう。

インディジョーンズの世界を体験する乗物はおもしろかった。安全装置でしっかり身体を固定し、猛スピードで怪しげな怪物がうごめく中を突っ走る。突然直角にカーブ「チャーッ」と声が出ないのは失神した人とは限らないが、あっ！と言う間に終わって外に出ると、どこでいつの間にか撮ったのか、いろんな表情の写真が壁に貼ってある。

よかったら記念に一枚買おうと思って自分たちの写真を見ると「ギョッ！」。ものすごい形相の面々が、にぎりん棒にしがみついているではないか？これはどう見てもカメラが壊れたせいとは思えない。

幸い私は、横を向いていて前の男性に顔の大部分が隠されて難を逃れたホッとした。

・・・誰ひとり写真は買わなかった。よほどショックが大きかったのか、その後もその写真の話は誰の口からも出なかった。